

《企業紹介》

同社はベトナムの大手空運サービス企業である。ベトナム国内発着便の運航便数シェアは 45%でトップ(2025 年 1-3 月期)となっている。2007 年にマレーシアの LLC (格安航空会社)であるエア・アジアとベトナム現地資本の合弁により設立され、ベトナム政府の外資規制方針によりエア・アジアが資本を引き上げた後の 2011 年 12 月から事業を開始した。価格の安さだけでなく、ベトナムの国内外の航空旅客輸送ネットワーク開拓に注力し、ベトナム人にとって航空旅客サービスをよりポピュラーな移動手段にすることをミッションに掲げている。

《2025 年 7-9 月期業績》

2025 年 7-9 月期の売上高は前年同期比 6.8%減の 16.9 兆 VND (ベトナムドン) だった。国内線収入が同 10.5%増の 3.9 兆 VND、国際線収入は同 22.4%増の 4.4 兆 VND、貨物・付帯業務収入が同 1.2%減の 6.0 兆 VND、チャーター便収入が同 24.4%増の 1.4 兆 VND となり、旅客運航事業の売上高は同 9.7%増の 15.9 兆 VND となった。しかし、航空機等売却収入が同 85.9%減の 4,345 億 VND と大幅に減少したため、全体の売上高は前年同期比で減少した。

粗利益率が同 1.6%ポイント低下の 12.4%となったため、粗利益は同 17.6%減の 2.0 兆 VND となった。前年同期に 0.6 兆 VND の計上があった航空機等売却益がなくなったこと、新たに投入する飛行機の増加などに伴う減価償却費の増加、運航コストの増加に伴う旅客運航事業の収益性低下などが影響したとみられる。4-6 月期まで続いた同社の前年同期比の粗利益率改善は 7-9 月期で途切れ、収益力の改善は足踏み状況となった。営業利益は同 45.6%減の 3,971 億 VND だった。粗利益の減少に加え、営業費用の減少が同 6.4%減の 1.6 兆 VND にとどまり、営業利益は大幅な減少となった。営業費用の減少が限定的だったのは、支払利息の増加によって金融収支の支払超過額が同 1.5%減の 8,300 億 VND にとどまったことが影響したようである。税前利益は同 47.4%減の 4,000 億 VND、純利益は同 44.1%減の 3,193 億 VND となった。

図表1 四半期業績の推移 (単位 十億VND)

	2024年7-9月期		2024年10-12月期		2025年1-3月期		2025年4-6月期		2025年7-9月期	
		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)
売上高	18,164.2	27.6	19,796.8	35.6	17,952.2	0.9	17,885.3	10.1	16,931.4	-6.8
粗利益	2,544.8	105.1	1,010.1	黒字転換	2,403.7	37.7	2,417.0	20.3	2,095.7	-17.6
(粗利益率%,ポイント)	14.0	5.3	5.1	8.5	13.4	3.6	13.5	1.1	12.4	-1.6
営業費用	1,815.5	74.7	1,022.4	-	1,578.4	31.2	1,662.1	-7.1	1,698.7	-6.4
(金融収支、マケスは受取超過)	842.4	253.2	-130.1	-	737.2	107.1	578.9	11.2	830.0	-1.5
(うち販売費)	695.4	12.3	644.7	29.6	567.7	-13.6	615.8	2.6	631.1	-9.2
(うち一般管理費)	277.8	-	507.4	-2.8	273.5	44.1	468.5	-29.9	237.6	-14.5
営業利益	729.3	262.3	-12.3	赤字縮小	825.3	52.2	754.8	243.9	397.1	-45.6
税前利益	760.3	282.9	108.4	-32.8	836.4	23.7	814.9	151.5	400.0	-47.4
純利益	571.6	463.9	23.4	4.3	640.5	19.4	652.4	121.4	319.3	-44.1

注 監査済み決算をもとに四半期決算の数値を調整しており、一部過去のレポート記載の数値と異なる場合がある
出所 各種データをもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会 有効期限作成日より 180 日 News20250818
主な事業 金融商品取引業

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。

ベトジェットエア (VJC)



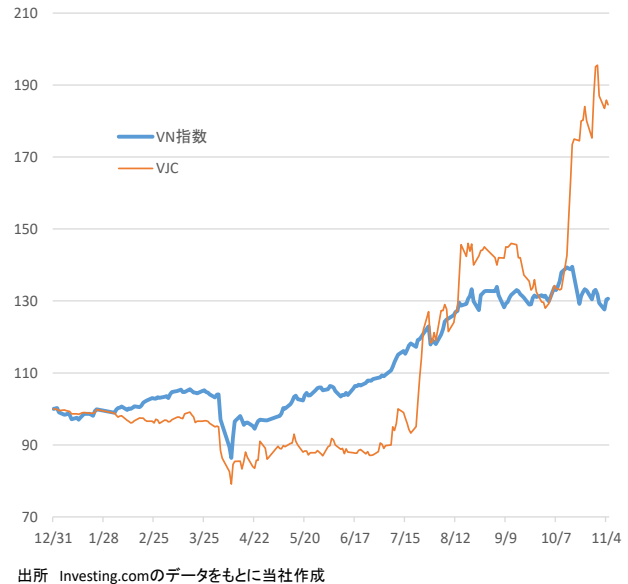
《株価の推移》

同社の株価と VN 指数を、2024 年 12 月終値を 100 としてそれぞれを指数化したものが図表 2 である。同社の株価のパフォーマンスは、7 月中旬までは VN 指数のそれを下回って推移していたが、4－6 月期決算発表後に大幅上昇が始まり、8 月以降はアウトパフォームに転じた。11 月 5 日終値の 2024 年末比上昇率は VN 指数が 31%、同社は 85% となっている。また、11 月 5 日終値 184,500VND で計算した同社の時価総額は 99.9 兆 VND となっているが、この水準は 2024 年 12 月期の純利益 1.4 兆 VND の 71 倍となっている。

ベトナムの道路や鉄道などの交通インフラは脆弱であり、今後も空運の果たすべき役割は大きい。国内外ともに旅客数が増加していることが確認されているうえ、ロンタイン国際空港開業をきっかけにその増加ペースが加速する期待が高まっている。そのような環境下で、同社の機材に対する積極的な投資姿勢などが改めて評価され、株価パフォーマンスの改善に繋がっているとみられる。

同社の 2025 年 12 月期会社計画は、売上高が前期比 13.4% 増の 81.6 兆 VND、税前利益が同 20.7% 増の 2.2 兆 VND となっているが、2025 年 1－9 月累計実績の計画に対する進捗率は、売上高が 65%、税前利益が 93% となっている。売上高の進捗はやや遅れているといったところだが、税前利益の進捗は良好である。7－9 月期決算は減収減益だったが、採算改善は会社計画を上回って進捗していると推測できるだろう。

図表2 株価推移



ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より 180 日

News20250818

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。